

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		『利用者とともに笑って暮らそう』という方針を立てたが、今度は当センター独自の地域密着型サービスとしての理念を明文化するようにする	まずは地域の中での当センターの役割・意味をしっかりと理解する。	当センターにどのような役割を担っていくべきかを運営推進会議にて、地域な方々より意見を頂き、しっかりと意味を見出していく。	12ヶ月
2		入院などの際に、口頭で利用者情報を伝えていたが、介護サマリーをしっかりと作り情報提供できるようになる。	介護サマリーの作成	各利用者のサマリーを作り、常に更新できるように管理していく。	1ヶ月
3		重度化・終末期に向けた取り組みはしており、医師・家族としっかりと話し合い、家族の負担・本人の負担軽減に努めたが、事前にしっかりと書面をかわせていなかった。	より流れ理解して、家族と今まで以上に綿密に関係を築き、終末期を気持ちよく迎えて頂けるように取り組む。	書面の再確認。流れの把握に再度努める。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。